



～子どもたちの、より良い教育環境づくりを目指して～

新しい瀬戸市の教育がはじまります

“自ら考え、学び、生き抜く力”を育むため、小中一貫校の開校を目指します。

本市では、平成28年3月に「第2次瀬戸市教育アクションプラン（瀬戸市教育振興基本計画）」を策定し、平成37年度を目標年度とする、本市の教育振興を図るための施策をまとめました。その中で、子どもたちが“自ら考え、学び、生き抜く力”を育むことをプランの根幹とし、確かな学力の定着と向上、地域や社会とつながる教育の推進、適正で魅力ある教育環境の充実などを基本目標として掲げており、これらの基本目標をより効果的に実現するためには、子どもたちの、より良い教育環境づくりが必須となります。

そこで、本市では中心市街地周辺をモデル地区として定め、そのモデル地区において、平成32年（2020年）の春、新たに小中一貫校の開校を目指した準備を進めています。これは、小学校5校（道泉小、深川小、古瀬戸小、東明小、祖母懐小）と中学校2校（祖東中、本山中）の計7校を統合し、東公園内（中山町）において、新たに小中一貫校を開校するものです。

現在、各学校のPTAや各地区にお住まいの皆さんと意見交換や協議を重ね、さまざまなご意見をお聞きしながら、安全な通学路の確保など子どもたちに配慮すべき内容や、学校と地域の協働などの課題解決に向け、検討を行っているところです。

また、8月には瀬戸市小中一貫校施設整備委員会を立ち上げ、新しい学校づくりに向けた施設整備などの協議を開始しました。

今後も、小中一貫校の開校に向けた取り組みについては、随時、広報せとや市ホームページなどでお知らせしていきます。なお、本計画に関する資料などくわしくは市ホームページ「トップページ」→「小中学校適正配置」をご覧ください。

ご不明な点やご意見などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

☎ 学校教育課(小中一貫教育推進担当) ☎ 88・2750
Eメール kyoiku@city.seto.lg.jp



瀬戸市長
伊藤 保徳



教育長
深見 和博